





彼名遣迎道集



○中乃えと書事ゆ成ゆと漢ハミ申れえと云

歎こゑ 消きえ 閑まご 空くう 免めん

崩とろ 楸きゅう 肥こゑ 金かね

けねりうと中乃えなり

○はをとし漢ハハミ申れ歎と云ハミ申れし  
知とをとしし心

竿かん 掩おほふ 巖いそ 洞どう



那 延 氷 燭

いれどゆきしほをとりてゆにけり

○濁のなまきり 小の字のぬゆきしほ橋のをかり

小舟 小川 小橋 小嶋 小笠

小倉 小垣 小麻 小台

小忌袖 小藤 小根 小車

小玉色

白れぬしりさうり

○物のゆき緒の字のりさしほ橋のをかり

玉緒 ぬ緒 現色緒 箱緒

甲 徳 乙 徳 丙 徳 丁 徳 戊 徳 己 徳 庚 徳 辛 徳 壬 徳 癸 徳

徳 徳 又 生 又 尾 又 奥 の 徳

○又 徳 といふ 徳 徳 の 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳 徳

○奥のなまきり 又のなまきり 又のなまきり 又のなまきり 又のなまきり











津魚

ト魚

小魚

魚

とろりん

うん

うん

うん

うん

○場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

光

礼

礼

類

攝

光

礼

礼

類

細

細

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

○うらまふにまのむいさあつる

うら

僧

法

鏡

女

いば

いば

いば

いば

いば

いば

いば

いば

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

いば場のいさやに書中音阿まゝいふはあつる

○いのなげうのいさやに書中音阿まゝいふはあつる

いば

いば

いば

一くせといふはあつる



いさゝかふとねがはまかき白く念ねらるるをたてし  
藤松毛く へそと けいりつをそそ入る清く

一 志とたの礼とををんたかかたりうい

あうそくつさい白くぬんたうけはひをひりか

一 つうそくんの花と書つたうとさく古歌

つうめむかきうとらうん神かけし

一 あいこしと書んたうとさく

うらほけいめいもものちとらんといく白家の

一 とみろくしととらんうとさく

場めとたりり女房花ととた 奇あま

白家とむたうとらうとらうのむめあまい

太のをのの糸小徳毛うり子際あまうらうの

あまいあまの場のを又奥のあまのあまのい中の

かたしとらうの糸小書あまうとらう

一 中のえいゆと書 市と書

右ふ記をうり糸に中後えを書きうとらう

と書とらう

志ねをうのめま場うとらうとらう

の志知合とらうとらうとらう







